

感染症情報管理アプリケーション

# PASS-CODE®

感染症情報の管理&活用を  
デジタルでもっと簡単に！

ワクチン接種履歴の登録も、抗原検査結果の登録も、  
PASS-CODE®ひとつでカンタン、カクジツ、デジタル管理



※厚生労働省が推奨する「体外診断用医薬品」抗原検査キットです。※本検査キットの販売先は企業、自治体、施設等を対象にしています。  
※個人の方からのお申込みは受け付けておりません。予めご了承ください。※PASS-CODE®のご利用がない場合でもキットの申込みは可能です。

## PASS-CODE®の4つのポイント

### 01 ワクチン・検査\*パッケージを一つのアプリに格納



ワクチンの接種履歴の管理、  
抗原検査結果の管理、それら  
の表示機能を一つに集約した  
アプリケーションです。

※指定の抗原検査キット・PCR検査に対応しています。  
※スマートフォンで誰でも使用できる無料のウェブアプリケーション(ダウンロード不要)です。

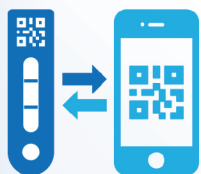
### 02 ワクチン接種履歴情報を事務局でしっかり確認



ユーザーがアプリでアップした  
接種済み証と本人確認書類を  
事務局でしっかり確認。なりすま  
し等の不正な利用を防ぎます。

※3回目以降のワクチン接種情報にも対応しています。

### 03 アプリケーションに対応した抗原検査キットを準備



アプリケーションに対応した  
「ユニークQR連動抗原検査キ  
ット」をキットメーカーと共同提供。  
検査結果をスムーズにアプリ  
ケーションで表示できます。

※厚生労働省が推奨する「体外診断用医薬品」抗原検査キットです。

### 04 イベント会場等で使えるチェックイン機能



イベント会場や宿泊施設等  
などで来場者ログを取得できる  
チェックイン機能を実装。  
安全性の向上と管理負荷の  
軽減に貢献します。

## PASS-CODE®の特徴的な機能

検査管理者向け



#### 抗原検査の工程をデジタル化

薬局や検査場で実施する抗原検査を今すぐデジタル化。受付や検査工程の効率化に大きく貢献します。

一般ユーザー向け



#### ワクチン接種履歴をデジタル管理

接種履歴をアプリ上でデジタル管理。備忘録として、また各種割引サービス享受用としてご活用ください。

一般ユーザー向け



#### セルフ抗原検査もデジタル管理

アプリ対応キットを使用すれば、セルフで実施した検査結果をアプリケーションで管理できます。

イベント・宿泊事業者向け



#### イベント・宿泊施設での来場者健康チェック

イベントや宿泊施設で来場者のワクチン接種履歴や抗原検査履歴を簡便・迅速に確認ができます。

一般ユーザー向け



#### 抗原検査結果をアプリで確認・管理

アプリ対応キットを使用する薬局や検査会場等で受検した際に、結果をアプリで確認することができます。

詳しくは下のQRコードから



# PASS-CODE®

## 実証事例



「札幌市・さっぽろ連携中枢都市圏」※1

### 実証事業

2021年11月22日(月)に、凸版印刷と札幌市の間で『「さっぽろPASS-CODE®事業(試行)」に関する協定』を締結。本協定では、新型コロナウイルスの感染対策と日常生活の両立を目的に「PASS-CODE®」を飲食店やイベント等で活用する実証事業を共同で推進することを決めました。本実証事業での利用状況や市民/事業者からの声を受け、次年度以降へ本格導入を検討します。

市民：ユーザー登録～ワクチン接種履歴の登録



QRの読取～接種履歴の表示～確認

飲食店やイベント会場に掲示されているQRコードを読み取ると、接種履歴が表示される



事業者：店舗情報の登録



\*店舗でQRを読まずに、有効化された接種履歴を表示する運用も並行して実施

実証事業の期間 2021年12月6日(月)～当面の間(国のワクチン・検査パッケージ制度の動向等を見極めて判断)

実証事業の内容 飲食店等は店舗ごとに発行されたユニークQRコードを掲示し、そのQRコードを「PASS-CODE®」で読み取り、ワクチン接種済み証明を提示することで、来店者はインセンティブを得ることが可能。インセンティブによる来店促進効果を検証します。来店者は、札幌市のWebサイト、飲食店等の店頭で掲示されているポスターから本実証事業専用の「PASS-CODE®」にアクセスすることが可能です。

※1「さっぽろ連携中枢都市圏」平成31年3月、札幌市、小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町及び長沼町の8市3町1村は、人口減少・少子高齢社会においても、圏域内の活力を維持し、魅力あるまちづくりを進めるため、「さっぽろ連携中枢都市圏」を形成しました。さっぽろ圏域では、構成市町村がそれぞれの特徴を活かしながら、密接な連携と役割分担の下で、住民生活や圏域経済に資する取組を行うことにより、住みたくなる人が多くなる、投資したくなる会社が増えていくなど、様々な面で「選ばれる」圏域を目指していきます。

\*「QRコード」は(株)デンソーウェーブの登録商標です。